

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年10月18日(2007.10.18)

【公開番号】特開2003-6577(P2003-6577A)

【公開日】平成15年1月10日(2003.1.10)

【出願番号】特願2002-105593(P2002-105593)

【国際特許分類】

<b>G 06 K</b>	<b>17/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 06 F</b>	<b>3/06</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 06 F</b>	<b>3/08</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 06 F</b>	<b>12/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 06 F</b>	<b>12/16</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>G 06 K</b>	<b>19/07</b>	<b>(2006.01)</b>

【F I】

G 06 K	17/00	D
G 06 F	3/06	3 0 4 J
G 06 F	3/08	C
G 06 F	12/00	5 2 0 J
G 06 F	12/16	B
G 06 K	19/00	N

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月3日(2007.9.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

情報処理装置に着脱可能に接続される可搬型記憶装置であって、

揮発性の第1の記憶部と、

不揮発性の第2の記憶部と、

前記第1の記憶部と、前記第2の記憶部と、に対して、前記情報処理装置から送信された情報の書き込みと前記情報処理装置から要求された情報の読み出しとを制御する制御回路と、を備え、

前記制御回路は、前記情報処理装置から初期値を設定する指示を受け、前記第1の記憶部の所定の領域に初期値を書き込むことで初期値を設定し、前記初期値を設定した後に、前記情報処理装置からの指示を受け、前記所定の領域に、前記情報処理装置と前記可搬型記憶装置とが接続状態であることを示す認証値を書き込み、前記第1の記憶部の前記所定の領域に記憶されている情報が、前記認証値に一致しない、と前記情報処理装置により判定された場合、前記制御回路は前記情報処理装置からの読み出し要求を受け付け、前記第2の記憶部に記憶された情報を前記情報処理装置に送信する、ことを特徴とする可搬型記憶装置。

【請求項2】

請求項1に記載された可搬型記憶装置であって、

前記第2の記憶部は、複数の記憶領域を有し、各記憶領域について、どのような情報を記憶しているかを示す記憶内容識別情報と、前記記憶内容識別情報によって特定される情報が記憶されているアドレスに関する情報を含む記憶部情報と、を保持し、

前記制御回路が前記情報処理装置に送信する情報は、前記第2の記憶部に記憶された記憶部情報である、  
ことを特徴とする可搬型記憶装置。